

授業概要

精神疾患とその治療について、心理学を学ぶ者が持つべき知識、公認心理師に必要とされる知識、医療保健領域で必要とされる知識、を講義する。

まず精神医学の歴史的展望と診断体系概観する。以降、各種精神疾患について、症状学、診断学、治療学について概説する。次いで、各種精神疾患の治療システムについて説明する。最後に、多職種連携とリエゾンについて説明を加える。

授業計画

第1回	精神医学の歴史的展望
第2回	精神医学診断体系
第3回	精神疾患とその治療①：統合失調症
第4回	精神疾患とその治療②：気分症群〈気分障害〉
第5回	精神疾患とその治療③：不安症〈不安障害〉
第6回	精神疾患とその治療④：アルコール・薬物依存・ネット依存
第7回	精神疾患とその治療⑤：パーソナリティ症〈パーソナリティ障害〉
第8回	精神疾患とその治療⑥：摂食症群〈摂食障害〉
第9回	精神疾患とその治療⑦：神経発達症群〈発達障害〉
第10回	精神疾患とその治療⑧：神経認知障害群〈認知症とその周辺〉
第11回	精神疾患の治療システムとその背景①：薬物療法
第12回	精神疾患の治療システムとその背景②：精神療法／社会療法
第13回	精神疾患の治療システムとその背景③：予防と早期介入
第14回	精神疾患の治療システムとその背景④：外来治療／入院治療
第15回	精神疾患の治療システムとその背景⑤：多職種連携・リエゾン
第16回	筆記試験

到達目標

「代表的な精神疾患の成因、症状、診断法、治療法、本人や家族への支援」「向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化」「医療機関への紹介」（公認心理師試験出題基準）について説明できる。

履修上の注意

公認心理師国家試験受験のために単位修得が必要な科目である。

予習復習

テキストの予習、授業内容の確認

評価方法

授業毎の小レポート 15 回(30%)、期末の筆記試験(60%)、および授業への取り組み姿勢(10%)で評価する。

テキスト

- 教科書名：『公認心理師の基礎と実践② 精神疾患とその治療』
- 著者名：加藤隆弘・神庭重信（編）
- 出版社名：遠見書房
- 出版年（ISBN）：2020 年（978-4-86616-072-6）